

五小っ子

平成29年度 学校便り第5号 (5月10日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切にし、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

やさしさいっぱい

立夏を過ぎ、校庭や山々も初夏の装いとなりました。
長かったGW中の事故もなく何よりです。

各家庭での交通ルール徹底復習のおかげです。今後とも宜しくお
願いいたします。

まずは、低学年の学級通信を一部引用して“やさしさいっぱい”
をお届けします。

— 1年学級通信より —

毎朝、学校に向かう本校1・2年生の子どもたちが、庭掃除をさ
れている地域のおばあちゃんに「おはようございます。」と気持ち
の良いあいさつをするそうです。「それがとても嬉しくて・・・」
という涙声のご本人からの電話がありました。

『あいさつは、人と人、心と心を結ぶもの』：学級部会テーマも
『自分から進んであいさつ・返事』です。親子での「おはようございます」地域で
の「おはようございます」そして学校での「おはようございます」を今後も続けて
いきたいですね。

— 2年学級通信より —

道徳の時間、「友だちの良いところさがし」をしようという学習をしました。
2年生ぐらいたと「友だちの良いところ」を意識して生活することはあまりありま
せん。普段よく遊ぶ友だちについても「良いところは？」と聞かれても
「???」・・・

案の定、授業のはじめ頃は「〇〇さんの良いところ、わからん。」というつぶやき
が聞こえていました。でも、授業の終わりに、いろんな友だちに自分の良いところ
を書いてもらって、みんな嬉しそうにニコニコしながら読んでいました。

友だちの嫌なところを考えるより、良いところを見つける方がお互いに幸せです
よね。そんなきっかけになればいいなと思いました。



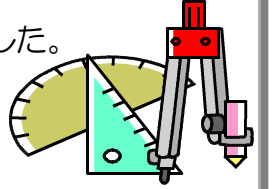
ともだち

「ごめんね」って
いう。
「ごめんね」って
いう。
「もう遊ばない」って
いう。
「もう遊ばない」って
いう。
「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。
「もう遊ばない」って
いうと
「もう遊ばない」って
いう。
そして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」って
いうと
「ごめんね」って
いう。
こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。
金子 みすゞ

かしこさいっぱい

毎週火曜日に実施している『学力アップタイム』に
ついて紹介します。

平成25年度から島原市の小・中学校全ての取組として始まりました。
本校は本年度3回目です。



【目標】 定期的に復習問題に取り組み、学習内容の定着を図る。

○時間帯 14:30~15:00 (1~4年生)

14:30~15:15 (5・6年生)

○内容 現在学習している内容ではなく、
下学年を含めた既習事項や学力調
査の結果から明らかになった課題
を中心に学習する。
国語(漢字練習は除く)と算数、
同学年で同じ内容のプリント学習
をする。



— 学力アップタイムをどう思いますか —

- ・一人でも解けるから算数の時間より好き。
- ・復習や少し難しい問題にも挑戦するので学力アップになりそう。
- ・算数の時間にも効果があって力が付いてきた感じがする。

「以上、5・6年生から嬉しいコメントをもらいました。」



ちいさなお客さま

9日(火)の2時間目、41人の小さなお客さまたち
が校長室を訪れてくれました。



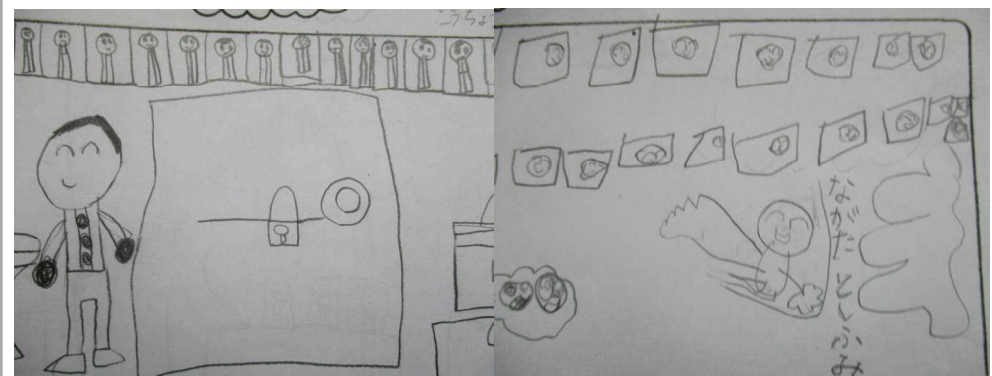
1年生生活科の『学校探検』です。

「校長室はだれがつくったんですか？」
「校長先生はどんなお仕事をするんです
か？」・・・と質問攻めにあいました。

子どもたちにも質問してみました。

「一番気に入った教室はどこですか？」

すると「校長室が一番かっこいい！」な
どと気を遣ってくれるお客さまもいて幸せ
な気持ちになりました。一つ一つ覚えるこ
とが嬉しくてたまらない1年生たちのこれ
からの成長が楽しみです。



歴代の校長写真が書かれたふ
りかえりカードです。
私の名前を書いてくれた男の子
もいました。